

兵庫の林業

令和5年度県林業関係各課予算の概要
狩猟免許試験・林業技能講習等の案内



もくじ

この「人」に聞く.....	1
県立森林大学卒業生の進路.....	1
林務課林政企画官就任あいさつ.....	2
新たな県林業士の紹介、県林業労働 賞受賞者紹介.....	2
令和5年度	
林務課予算の概要.....	3
治山課予算の概要.....	5
自然鳥獣共生課野生鳥獣対策関連予算の概要.....	8
狩猟免許試験のご案内.....	9
林業技能講習等の案内.....	9
△普及だより▽	
集落と連携した獣害対策の取組み(加古川).....	10
森林ボランティア活動紹介.....	11
木材市況・住宅着工工数の報告.....	11
ひまわり森林林業協同組合連合会発足と事業開始.....	12
「ひまわりこの木の物語」第4回(裏表紙 題字).....	齊藤元彦氏

表紙の写真

初代県庁館は、一八六八(慶応四)年に初代県庁舎となった旧大坂町奉行所兵庫勤番所を復元した施設で、神戸市兵庫区にある県立兵庫津(ひまわりこのつ)ミュージアム内にあり、一昨年十一月にオープンしました。

初代県知事伊藤博文の執務室や庭園、仮宇などが再現され、建築様式は、役所の機能を重視した簡素な武家屋敷造りとされています。建築用木材は主にスギ・ヒノキが使用され、漆塗り等贅沢が禁止されるなか、プロポーシヨンや素材の美しさが際立ちます。詳しくは裏表紙をご覧ください。神戸市営地下鉄海岸線の中央市場前駅下車五分、隣接の「ひまわりこのつ」にも見どころ満載です。

この「人」に聞く 農林水産部次長に就任した 塩谷 嘉宏



プロフィール
理学部地球科学科を卒業し、平成元年に竜野農林事務所治山課に配属。木質ファイバーを使った多肉植物の園芸を趣味に、癒しの時間も大切にしている。

果たす役割、そして変革する林業を

—38年ぶりに、林学職の次長として着任されたが—
脱炭素をキーワードに、Jクレジット制度を活用した森林整備や非住宅分野への木材利用に力を入れたい。その前提には、林業に関わる「人」を起点にしたい。人がいて生産や消費が成り立つ。「収益力の高い林業が活性化してこそ、新しい何かが生まれる」と力強く語る。
—今後、林業はどのような方向に注力すべきか—
森林所有者を含め、林業に関わる全員にしっかりと価値を還元して、若い世代が安心して受け継ぐことが

できる活動を目指さなければならない。「そのためには川上の林業事業者、川中の製材業、川下の工務店などが、互いに適正な利益を得られる信頼のある関係づくりが必要」だと。ウッドショックの対応では「川下の市場側で起こっている情報がリアルタイムで山側に伝わっていなかったことが反省」と語る。
—ひょうご農林機構の在任中に、チップ材で新しい木質ファイバーを試作されたが—（第303号参照）
わずか0.3m³のチップ材がイベント販売で16万円の売上となった。この取組は、大手建材メーカーが公的機関の関わる分収造林に高い関心を持っており、単なる商品開発だけでなく、「川下の企業と直結する国産材ビジネスのきっかけでもある」と語る。
—新しく森林林業に関わる方へのメッセージを—
森林は農地とは異なり、先人が植林した森林を誰かが管理していかなければならない。「私たちは、紛れもなく、この森林を守り管理する一員」だと強調する。しかし、公益的機能という名のもと、管理の過半を県民の税金に頼っている。だからこそ、自分たちの都合で、場当たりのではなく、「社会に貢献する公共性の高い森林管理、林業活動を実践していきたい」加えて、情報収集力、営業力、目利き力をフル活用し、「山の資源を収益へとつなげる変革を一緒に作ってきたい」と語る。（聞き手 林業会議 菅原）

林務課林政企画官就任のご挨拶 明石 康一郎



このたび、林務課林政企画官を拝命しました明石でございます。
平素は、本県の森林林業行政にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、昨年8月に設置した「分収造林事業のあり方検討委員会」では、昭和37年に林業公社を設立し、県北部を中心に進めてきた分収造林事業の取組の経緯や現地調査を含む現状の把握を外部委員の方々とともに進めてまいりました。今年度は、材価や金利の推移を参考とした収支試算結果等を踏まえ、事業のあり方を検討し、その機能の享受に努めてまいります。
また、兵庫県森林組合連合会が取り組む木質バイオマス事業は、ウッドショック等の影響を受け、令和4年12月に停止しましたが、引き続き、県産木材が燃料用材として安定的に供給されるとともに、県森連の経営改善等に取り組んでまいります。
これらの課題に全力を尽くしますので、皆様方のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和4年度「兵庫県林業士」の紹介 兵庫県林務課

小林 健太（養父市森林組合）



小林さんは、平成23年の入組以来、森林技術者として主に林産事業に従事され、業務に必要な様々な資格を保有し、研修にも積極的に参加し、優れた技術・技能を有しています。
真面目な性格から、作業道具や機材の点検も欠かさず、安全管理に努め、常により良い施業を探求し業務にあたっています。また、林業架線作業主任者免許の資格試験にも合格しています。若手作業員のリーダーとして、これからも活躍が期待されます。

佐中 俊彦（丹波市森林組合）



佐中さんは、平成26年の入組以来、森林整備事業を中心に森林技術者として従事し、林業架線や車両系建設機械など各種多様な資格を積極的に取得し、森林整備に関する優れた技術・技能を有しています。
地域林業の振興について熱意を持っており、小学校のPTA副会長を務めたこともあり、自治会行事には意欲的に参加されています。組合や地域のリーダーとして活躍が期待されます。

令和4年度「林業労働賞」受賞者 兵庫県林務課

「林業労働賞」受賞者の方は次の6名です。

- 立道 栄治（佐用郡森林組合）
- 小林 康隆（しろう森林組合）
- 池本 智明（豊岡コウノトリ森林組合）
- 宇田 英和（北但西部森林組合）
- 岸 宏（養父市森林組合）
- 山口 善二（丹波市森林組合）



林業労働賞表彰式
(令和4年10月30日・ひょうご里山フェスタにて)

「林業労働賞」は、森林・林業の担い手である林業労働者の組織的・安定的な確保を図るため、林業労働力の確保・育成に功績のあった方を表彰します。

表彰される方は、優秀な技能を有し、模範的な作業班員であり、次に掲げる3つの要件を全て満たす者です。

- ①兵庫県内で8年以上林業労働に従事し、かつ過去3年間の平均就労日数が180日以上
- ②作業班長またはそれと同等の技能、知識及び経験を有する者
- ③各種団体の行う労働安全衛生に関する講習会並びに林業機械、伐木造材、枝打ち、間伐、模擬訓練施設による技能、技術研修を受けた者。

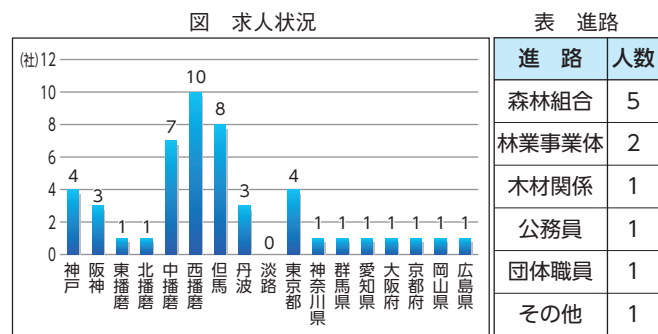
兵庫県立森林大学校 卒業生の進路等について

森林経営や森林林業に関わる人材を幅広く育成する専修学校兵庫県立森林大学校では、去る3月17日、第5回卒業式を行い、11名が社会人として巣立っていきました。卒業生の進路等については次のとおりです。

○求人状況
右図のとおり、県下各地、県外合計48社から合わせて100名の求人情報がありました。

○進路
卒業生（5期生）11名全員の進路が決定しました。進路については、右表のとおりで、9割が森林林業関係の仕事に就職しました。
卒業生の今後の活躍を期待しています。

学外就業体験等の実施にあたっては、個別に受け入れをお願いする他、企業・団体の皆様からの希望も受け付けております。就職につながる貴重な機会となりますので求人票を提出する際に、一言お声がけください。



公開講座について

当校研修科では、森林・林業、木材に関わる事業者のスキルアップ研修や、一般県民に興味や関心を持っていただくための様々な講座を主催しています。
詳細は県HPに掲載しています。



令和5年度 林務課 予算の概要

県内では、大型製材工場やバイオマス発電燃料による木材需要の増加により、原木生産量は平成25年度の24万m³から令和3年度の53万m³へと大きく増加しています。

このような状況に対応し、必要な需要量を持続的に供給していくため、搬出間伐の促進とともに主伐による原木供給と再生林による資源循環型林業の確立に向けた取組を進めます。

また、市町による森林環境譲与税を活用した非経済林の間伐や「新たな森林管理システム」が円滑に進むよう「ひょうご森づくりサポートセンター」等を通じた市町支援を展開します。

県産木材利用促進については、「兵庫県県産木材の利用促進に関する条例」に基づき、川上から川下までの関係者の連携と協働により、建築用材と燃料用材の2本柱でさらなる利用拡大に取り組みます。

凡例

【緊急】：森林林業緊急整備事業（県事業名）

【補】：令和4年度県補正予算措置分

【新】：新規事業

【拡】：拡充事業

※金額は令和5年度県当初予算ベース

1 多面的機能の発揮に向けた森林整備

(1) 多様な森林の整備

人工林のうち、育成単層林については、気象災害等に配慮しつつ、間伐等を推進するとともに、地形や地質等により条件の悪い森林については、針広混交林化や天然林へと誘導する等、多様で健全な森林の整備を図る。



主伐・再生林地

また、資源循環型林業の実現に向けて、主伐後の再生林に対する支援を実施する。

造林事業 1,541,000千円

（うち花粉発生源対策 153,000千円）

造林事業（R4当初→R5繰越） 73,649千円

（うち花粉発生源対策 26,722千円）

造林事業（R4経済対策補正）【補】310,000千円

【緊急】間伐（R4経済対策補正）【補】199,870千円

重要水源林機能高度化事業 12,000千円

資源循環型林造成パイロット事業 16,490千円（※緑化基金）

※緑化基金：（公社）ひょうご農林機構が管理する緑化基金を財源として執行

(2) 施業集約化の促進

森林施業の集約化を促進するため、森林経営計画の作成や森林境界の明確化等を支援する。

森林整備地域活動支援事業 18,575千円

(3) 生産基盤の整備

ひょうご農林水産ビジョン2030の中間目標（令和7年度）達成に向け、令和7年度には、製材工場等に必要



搬出間伐

な316千m³/年の原木と木質バイオマス発電向けの燃料用として見込まれる211千m³/年を合わせた527千m³/年の原木を低コストで安定的に供給できるよう、森林施業の団地化、林道や作業道等の林内路網の整備及び機械化などを支援する。

① 作業道整備及び機械化の推進

【緊急】林内路網整備

【補】253,000千円の内数（TPP関連）

森林資源活用システム整備事業 60,000千円【補】

県産木材利用促進特別融資事業 50,000千円

【緊急】高性能林業機械等導入

【補】253,000千円の内数（TPP関連）

② 林道整備の促進

ア 幹線林道の開設

森林基幹道開設：須留ヶ峰線、千ヶ峰・三国岳線

イ 支線林道及び路網拠点整備

林業専用道：能栖線、大畑越知線

路網拠点整備：須留ヶ峰線ほか1路線

ウ 林道の機能強化、維持管理

林道改良：瀧川・水ノ山線ほか11路線

エ 林道施設災害（県営、市町営）

【林道事業費】

公共林道事業費 618,698千円

【補】160,000千円

県単独林道事業費 199,484千円

県単独林道事業費（管理費） 51,123千円

林道施設災害復旧事業費 140,000千円

(4) 林業技術の普及

林業普及指導員による林業技術の普及指導活動や指導林家等・林研リーダー研修等を通じて、地域リーダーや後継者を育成する。

林業技術普及費 4,929千円

2 林業の担い手の育成

(1) 次代の森林林業を担う人材の育成

県立森林大学校において森林経営から森林セラピーや獣害対策に至るまで、森林に関わる人材を幅広く育成する。

また、即戦力となる人材に対して給付金を交付する。

兵庫県立森林大学校運営費 49,191千円

緑の青年就業準備給付金 19,387千円

(2) 林業事業体の育成・確保

収益性の高い低コスト林業経営モデルの確立に向け、県立森林大学校研修科において林業機械コースや森林経営コース、木材利用コースなど高度なカリキュラムを実施し、林業事業体における森林施業プランナー、現場技能者等の能力を高めるとともに、林業労働者の就労環境の改善、労働安全衛生の向上を図る。



伐倒練習機による安全研修

兵庫県立森林大学校運営費 49,191千円（再掲）
林業労働力育成対策事業 1,148千円

(3) 林業・木材産業の経営基盤の強化

林業・木材産業事業体に対して、低利・無利子の資金を融通することにより、林業及び木材産業の健全な発展、木材生産及び流通の合理化の促進を図る。

林業・木材産業改善資金貸付金 100,000千円

木材産業等高度化推進資金 780,007千円

県産木材利用促進特別融資事業 50,000千円（再掲）

3 県産木材の供給体制の整備と利用拡大

(1) 県産木材の供給体制の整備

品質向上や供給体制の確立に向けた木材乾燥機など木材加工流通施設の整備により、県産木材の品質向上や供給体制の整備を図る。

林業構造改善事業 — 千円

(2) 県産木材の利用拡大

① 公共・民間施設の木造・木質化の推進

展示効果が見込める公共施設や民間施設での木造化、木質化を進めるとともに、公共土木工事での県産木材の利用を進める。



「ひょうご木の街木質化推進事業」を活用して木質化した民間施設

【拡】ひょうご木の街木質化推進事業 12,000千円

非住宅木造建築物研修の実施 500千円

② 県産木材を使用した住宅の建設促進

県内工務店による県産木材を利用した魅力的な木造住宅の設計及び「ひょうご木の匠」登録工務店による工務店グループによる県民向け住宅展示・相談会の開催を支援するとともに、「ひょうごの木の家」設計支援事に業について、横架材に県産材を使う設計をした場合、基準補助額300千円/件に100千円/件を加算し、400千円/件を支援

し、県産木材の利用意義のPRと県産木造住宅の建築促進を図る。

【拡】「ひょうごの木の家」設計支援事業 51,500千円

「ひょうごの木の家」建築促進事業 2,000千円

③ 県産木材を使用した木製品の普及

県産木材を使用した製品の取扱事業者を「ひょうご木製品マイスター」として登録し、木製品活用事例集等により広く県民に紹介することで、県産木製品の普及・導入促進に繋げ、県産木材の利用拡大を図る。



県産木材製品

【拡】ひょうごの木づくり啓発推進事業 580千円

④ 県産木材の利用意識の醸成

住宅建築を検討している県民等を対象に、山での伐採作業から製材所での加工の様子、このような県産木材を使った木造住宅等の現地見学及び県産木材情報のプラットフォームとなるHPの作成・公開を通じて、県産木材の利用意識の醸成を図る。

ひょうごの木づくり普及啓発 10,710千円

⑤ 木質バイオマスの利用促進

未利用間伐材等を仕分け・ストックする山土場整備、購入資金等

に対して支援

バイオマスヤード整備事業

1,350千円

県産木材利用促進特別融資事業

50,000千円

（再掲）



バイオマス発電所

4 森林環境譲与税を活用した森づくりの推進

平成31年度から導入された森林環境譲与税を活用し、市町が行う森林整備等を支援する。

(1) ひょうご森づくりサポートセンターの設置

県がひょうご森づくりサポートセンターを設置し、森林経営管理法制定を受けて市町が実施する森林経営管理法業務や森林整備事業業務、航空レーザー測量等のICT技術活用など市町業務を総合的に支援する。

また、民間事業者による病院、商店街等の多数の利用が見込める施設に対しても、木材利用を促進するための技術者の派遣等を行う。

【拡】ひょうご森づくりサポートセンター設置事業 60,164千円

(2) 森林クラウドを活用した森林情報の高度化

令和2年度に導入した森林クラウドシステムの

適正な運用を行うとともに、システムに搭載する森林情報の精度向上を図り、円滑な森林整備の実施につなげる。

- 森林クラウド活用情報高度化事業 56,689千円
(3) 県立森林大学校を活用した市町職員養成講座の実施

市町職員の専門能力向上を目的とした養成講座（森林林業の概要と実務、木材利用の実務、森林GIS等）を実施する。



市町職員養成講座

森林大学校を活用した市町職員養成講座の実施 7,148千円

- (4) 林業災害防止研修の実施**

急増する急傾斜地等の条件不利地での立木伐倒作業等を安全に行う技術指導ができるリーダー人材を育成する。

伐倒練習機等を活用した林業災害防止研修の実施 3,673千円

- (5) リモートセンシング技術者養成研修の実施**

森林整備の急激な増加に対応するため、ドローン等を活用したリモートセンシング技術習得による測量業務を安全かつ円滑に実施するリーダー人材を育成する。

リモートセンシング技術者養成研修の実施 5,215千円

- (6) 県産広葉樹苗木生産者育成研修の実施**

県産広葉樹苗木需要の増加に対応するため、生産者の確保及び技術継承を目的に、苗木生産技術習得に係る研修会を実施する。

県産広葉樹苗木生産者育成研修の実施 976千円

- (7) ひょうごの森づくり・木づかい普及啓発**

県民の森林環境税への理解を深めるため、森林環境税の趣旨や森林の公益的機能、木材利用の意義、市町の森林環境譲与税を使った取組等を紹介するフェアを開催する。

森づくり・木づかいフェア開催 1,700千円

- (8) Jクレジット制度普及啓発**

市町のJクレジット制度活用の取組を推進するため、制度の普及啓発及びJクレジット発行に向けた資料作成を支援する。

さらに、クレジット販路の拡大に向けた取組として、クレジット購入企業向けのセミナーを開催し、企業とプロジェクトとのマッチングを促進する。

【拡】Jクレジット制度取組支援事業 3,300千円

令和5年度 林務課 主な事業 当初予算額
 27,653,840千円 (対前年度比92.4%)
 (+繰越R4→R5) 29,000,095千円 (対前年度比91.8%)

令和5年度 治山課 予算の概要

県土の7割を森林が占める兵庫県。森林は、憩いや安らぎを与えてくれるだけでなく、水源をかん養し、土砂災害を防止するなど、私たちの暮らしを支えています。

治山課では、森林の持つ公益的機能が高度に発揮されるよう、近年、激甚化する山地災害への対策、豊かな森づくりの推進に取り組みます。

- 山地災害への対策では、国の国土強靱化加速化対策とあわせて県の「第4次山地防災・土砂災害対策計画（令和3年度～令和7年度）」に基づき、人家等保全対策や流木・土砂流出防止対策として治山ダム等の整備を進めます。また、山腹斜面对策として、土留工や法枠工、落石防護柵等の設置を進めます。

あわせて森林の持つ公益的機能の維持向上を図るため、過密化等した保安林での森林整備を行います。

ソフト面では、山地災害危険地区の情報発信や山地防災教室の開催、地域での防災マップ作成等の減災支援対策などを行い、県民の避難行動に役立つ情報を提供します。



人家等保全対策を目的とした治山ダム (丹波市)

このような取組みから地域の防災力の向上を図り、総合的な山地防災・減災対策を推進します。

- 豊かな森づくりの推進では、「新ひょうごの森づくり第3期対策（令和4年度～令和13年度）」に基づき、人工林の間伐対策や里山林の再生、及び県民総参加の森づくりの推進を基本に、森林の持つ公益的機能の高度発揮を図ります。

また、近年の記録的豪雨や台風による災害の甚大化、頻発化など依然として災害リスクは高く、今後も危険渓流等での対策が必要です。

このことから、県民緑税を令和3年度から5年間延長し、森林の防災機能を高める「災害に強い森づくり第4期対策（令和3年度～令和7年度）」に取り組み、渓流での流木・土石流被害対策として、簡易流木止め設置や、危険木伐採などの里山防災林整備等を進めます。

さらに、森林の保全・管理として、林地開発許可制度の適切な運用等や、森林病虫害被害対策に取り組み、県民の安全・安心な暮らしを守る「ひょうごの豊かな森づくり」を推進します。

1 治山対策の推進

- (1) 「第4次山地防災・土砂災害対策計画」の着実な推進 (R3～R7年度)**

第4次山地防災・土砂災害対策計画 着手箇所数 (箇所)

区分	全体計画	R5計画
人家等保全対策	365	73
流木・土砂流防止対策	220	43
計	585	116

- (2) 治山施設の長寿命化対策の推進**

令和2年度に策定した個別施設計画に基づき、過去実施した治山施設の機能強化・長寿命化対策並びに再点検を進める。

- (3) 森林整備の推進**

森林の過密化等により機能が低下した保安林を対象に、本数調整伐等の森林整備を推進する。

【治山事業費】

公共治山事業費	3,794,000千円
県単独治山事業費	265,000千円
県単独緊急防災事業費	1,480,000千円
計	5,539,000千円
(別途4年度補正予算)	621,000千円)

「防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策」活用



山腹斜面对策を目的とした法枠工 (猪名川町)



集落裏山の点検 (加古川市)

2 新ひょうごの森づくり第3期対策の推進 (R4～R13年度)

- (1) 森林管理100%作戦**

間伐が必要な60年生以下のスギ・ヒノキ人工林について、国の公共造林事業による間伐の補助残額を県・市町が連携して公的負担を行い、森林管理の徹底を図る。



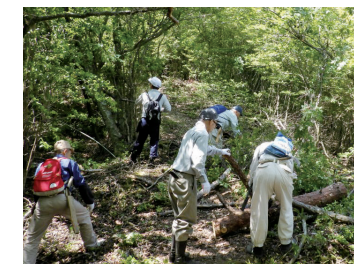
間伐を実施した人工林 (朝来市)

- ・「森林管理100%作戦」推進事業[間伐：1,000ha] 12,436千円 (※緑化基金)

※緑化基金：(公社)ひょうご農林機構が管理する緑化基金を財源として執行

- (2) 里山林の再生**

集落周辺的生活環境や景観の改良のため、地域住民等による森林整備活動に対し、資機材の購入等の支援を行い、健全な里山林への誘導を図る。



地域住民による里山林整備 (丹波篠山市)

(森林・山村多面的機能発揮対策交付金と一体的に実施)
 ・住民参画型里山林再生事業[240ha]

6,475千円 (※緑化基金)

- (3) 多様な担い手による森づくり活動の推進**

農村の過疎化や高齢化等により里山林を管理する担い手が一層減少しつつあり、里山林をいかに維持管理していくかが、森づくりにおける課題として顕在化しつつある。そこで、県民が里山林への理解を深めるとともに、里山林を守り育てる意識醸成の場として、「ひょうご里山フェスタ」を開催する。

また、森林ボランティアの養成や、企業・団体等が社会貢献活動の一環として行う森づくり活動を支援し、「県民総参加の森づくり」を推進する。

- ・「ひょうご里山フェスタ」の開催 1,020千円 (※緑化基金)

- ・森林ボランティア養成講座の開催 1,000千円
- ・企業の森づくり推進 1,226千円 (※緑化基金)



ひょうご里山フェスタの開催 (丹波篠山市)



メットライフ生命保険(株)による森開き (神戸市)

- 3 災害に強い森づくり第4期対策の推進 (R3～R7年度)**

緑の保全及び再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして、県民税超過課税である県民緑税を活用し、「災害に強い森づくり」を推進する。

【県民緑税充当事業】

- ・緊急防災林整備 542,487千円
- [斜面对策：900ha、渓流対策：調査箇所20箇所、森林整備8箇所]

- 針葉樹林と広葉樹林の混交整備 294,000千円
[計画調査設計175ha、作業道開設205ha、
広葉樹植栽205ha]
- 里山防災林整備 528,360千円
[基本計画調査200ha、整備200ha]
- 野生動物共生林整備 307,500千円
[基本計画調査360ha、森林整備391ha]
- 住民参画型森林整備 27,000千円
[森林整備20ha]
- 都市山防災林整備 61,000千円
[基本計画調査40ha、森林整備40ha]



集落裏山の里山防災林整備
(豊岡市)



災害緩衝林と簡易流木止め
施設の整備 (丹波市)

4 森林とふれあう公園の運営

三木山森林公園及びふるさとの森公園（地域住民・ボランティア等が中心となり運営）において、森づくり活動や自然観察のプログラム等の実施により、身近に自然と触れあう場を提供する。

- 三木山森林公園管理運営事業 111,187千円
- ふるさとの森公園管理運営事業 [6公園] 181,741千円

5 県有環境林の管理

乱開発の抑制等を図るために取得し、良好な地域環境の保全等に寄与してきた山林について、森林の持つ公益的機能に着目し、県有環境林として適切な管理を行う。

- 県有環境林管理事業 [14地区2,597ha] 59,212千円

6 森林の保全・管理

(1) 保安林の指定等

治山事業施行予定地などの保安林指定を進めるとともに、公益的機能の維持・増進に資する保安林の森林施業の確保、標識設置や伐採等の行為制限により保安林の適正な管理、保全を図る。

- 保安林等整備管理費 10,415千円

(2) 適正な開発行為への誘導

森林が持つ公益的機能を確保するため、地域森林計画対象森林における許可制度の適正な運用により、森林の保全を図る。

- 林地開発許可制度実施費 1,460千円

(3) 森林の保全巡視

保安林等の森林において、無許可の伐採や開発行為等の早期発見、林野火災の予防啓発等を目的として「森づくり指導巡視員」を県民局・県民センターに配置し、森林の保全、啓発を行う。

- 新ひょうごの森指導巡視事業 8,791千円

7 森林病害虫被害対策の推進

(1) ナラ枯れ対策

西播磨や淡路地域に広がるナラ枯れ対策として、ナラ枯れによる倒木や落枝による人的な二次被害が予想される森林、保安林等防災機能の高度発揮を求められる森林、景観の悪化等が懸念される森林において、重点的に病害虫駆除等を実施する。

- その他法定病害虫駆除事業(ナラ枯れ被害対策) 38,791千円

(伐倒駆除(くん蒸)、噴霧剤処理(粘着剤塗布)、粘着シート)

(2) 松くい虫被害対策

保安林等の公益的機能の高い松林や地域経済上重要な松林を防除区域と定め、特別防除、地上散布及び樹幹注入等の予防対策と、伐倒駆除や造林事業(衛生伐)の駆除対策を組み合わせ、松林機能の保全を図る。

- 予防対策(特別防除、地上散布、樹幹注入) 14,230千円
- 駆除対策(伐倒駆除、特別伐倒駆除) 24,078千円
- ひょうご元気松10万本植栽事業 852千円
- 森林病害虫防除予防推進費(薬剤防除自然環境等影響調査ほか) 674千円

(3) 被害木の景観対策

景観の保全が必要な箇所において、ナラ枯れ被害木・過年度枯れの松枯れを伐倒処理する。

- 県単独松くい虫被害等景観対策事業 6,403千円



地上散布
(丹波篠山市)



ひょうご元気松
(神戸市)

令和5年度 治山課 主な事業 当初予算額
25,058,409千円 (対前年度比102.8%)

※うち14,607,869千円は、県有環境林特別会計等への繰出金

令和5年度 自然鳥獣共生課 (野生鳥獣対策関連) 予算の概要

野生動物被害防止総合対策の推進

シカ・イノシシの捕獲拡大により農林業被害は全体的には減少傾向にありますが、被害が増加している地域もあるため、地域の実情に応じた野生動物の①個体数管理、②被害管理、③生息地管理を総合的・計画的に進めます。

1 シカ・イノシシ被害対策の推進

被害が大きく狩猟者が少ない地域等での有害捕獲の強化、狩猟期間中の捕獲の推進、集落ぐるみの被害対策に対する支援を実施します。

(1) 鳥獣被害集落自立サポート事業等 366,934千円

被害集落自らによる獣害防護柵の設置・点検・管理や野生動物の潜み場となる茂みの刈り払い等の被害対策の実施、出没を繰り返すシカ・イノシシ等の捕獲活動を促進するため、民間の獣害対策専門家によるカルテ・処方箋作成を支援するとともに捕獲と被害対策を担う集落リーダーの養成を行います。

また、市町職員の対策技術・知識向上のための実践研修を実施します。



【集落での獣害防護柵設置】

(2) 捕獲の拡大 601,322千円

シカ4.6万頭、イノシシ2.5万頭の捕獲達成に向け、市町による有害捕獲に加え、狩猟期の捕獲報償金による捕獲促進、高標高等の有害捕獲が困難な地域や県境付近森林での捕獲を推進します。また、ICT活用等導入促進により捕獲を強化します。

(3) シカ丸ごと1頭活用大作戦 139,257千円

捕獲したシカを食肉など地域資源として有効活用を図るため、処理加工施設等の整備、捕獲個体の処理加工施設への搬入・回収支援、冷凍車等の導入を支援します。ひょうごジビエの日(毎月6(ロク=鹿)日、16(シシ=4×4)日、第4火(シカ)曜日)の普及啓発により、食肉・ペットフード等へのシカ肉の需要拡大を図ります。

さらに、販売ロットの確保とコスト削減を図るため、県内の処理加工施設のネットワーク化によるシカ肉、皮、角の広域的な集荷・流通を支援します。

加えて、小学生へのジビエ普及のため、小学生への学校給食へのシカ肉提供による試食機会を創出します。



【文鹿祭 (R5.2.28) の模様】

2 ツキノワグマ出没被害対策強化 10,190千円

生息数が増加しているツキノワグマの集落への出没や人身事故の発生を防止するため、不要果樹の除去、集落周辺部での有害捕獲の強化、追い払い等を実施します。

3 サル被害対策の強化 1,470千円

追い払い効果がない加害個体の捕獲を強化するとともに、市町でのサル群の動向追跡による出没情報の提供等を行うサル監視員の設置を支援します。

4 カワウ被害対策の強化 5,345千円

アユ食害を与えているカワウの個体数管理のため、「カワウ被害対策協議会」における関係機関(市町、猟友会、漁協等)が連携した営巣地や飛来地(銃猟可能なシューティングポイント)での捕獲等を支援します。

また、空気銃やわな等を用いた新たな捕獲技術の検証を行います。

5 狩猟後継者の確保・育成 79,468千円

狩猟への関心を高める狩猟体験会の開催、初心者向けの狩猟への理解を深めるPR等の実施により、狩猟者の確保を進めます。

さらに、新たな有害捕獲従事者向けの狩猟マイスター育成スクール等を実施します。

また、狩猟者の確保や、安全意識の高い狩猟者の育成、経験・技量や獣種に応じた捕獲技術の習得拠点となる「県立総合射撃場(仮称) (三木市吉川町)の整備を進めます。

令和5年度 鳥獣対策関連予算額
・野生動物保護管理費 1,203,986千円
(対前年度比 89.2%)



※イラスト(シカ):兵庫県森林動物研究センター提供

令和5年度狩猟免許試験のご案内

兵庫県では、今年度も次のとおり狩猟免許試験を実施します。

多くの方が免許を取得されますよう、ご案内いたします。

【狩猟免許とは】

狩猟期間中にシカやイノシシなどの狩猟鳥獣を捕獲するのに必要な資格です。

また、県や市町の許可を受けて実施する有害鳥獣捕獲にも原則必要です。

【狩猟の楽しみと公益性】

狩猟は、ハンティングや料理を楽しむという魅力のほか、農林業被害を与える野生動物の生息頭数を適正に管理するという公益性も兼ね備えています。

【免許の種類】

- ・網猟（主に鳥類）
- ・わな猟（獣類のみ）
- ・第一種銃猟（装薬銃・空気銃）
- ・第二種銃猟（空気銃）



【試験の日程と場所】

1回目

◇申込期間：5月15日(月)～6月2日(金)

◇試験日及び場所

- ・7月1日(土) 洲本市 ※わな猟試験のみ
- ・7月8日(土) 神戸市
- ・7月17日(月) 養父市
- ・7月21日(金) 姫路市
- ・7月29日(土) 神戸市

2回目

◇申込期間：7月17日(月)～8月4日(金)

◇試験日及び場所

- ・9月2日(土) 神戸市
- ・9月15日(金) 姫路市
- ・9月30日(土) 神戸市
- ・11月27日(月) 姫路市 ※わな猟試験のみ



【お問い合わせ先】

環境部自然・鳥獣共生課 ☎(078-362-3463)

初心者狩猟講習会のご案内

狩猟免許試験を受験される方を対象に、一般社団法人兵庫県猟友会が知識・技能に関する講習会を実施する予定です。

日時・場所については、5月上旬に兵庫県猟友会のホームページでお知らせいたしますので、各自ご確認ください。

【お問い合わせ先】

(一社)兵庫県猟友会 ☎(078-361-8127)

令和5年度の技能講習・特別教育等のご案内 林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部

1 はじめに

当支部では、林業・木材製造業の労働災害防止のため、労働安全衛生法に定められている林業・木材製造業の作業に従事するために必要な技能講習、特別教育等を開催しています。令和5年度は、右表の実施計画のとおり開催する予定ですので、関係する方々の受講をお願いします。

2 お申し込み方法

開催日1か月前を目途に、開催案内を当支部のウェブサイトに掲載しますので、申込要領に沿ってお申し込みください。

3 お申し込み先、お問い合わせ先

〒650-0012

神戸市中央区北長狭通5-5-18

林業・木材製造業労働災害防止協会 兵庫県支部

(兵庫県木材業協同組合連合会内)

TEL 078-371-0607



<http://www1.odn.ne.jp/hyogomokuren/rinsaibou/>

令和5年度 技能講習等実施計画

区分	名称	実施年月日	開催場所
技能講習	木材加工用機械作業主任者技能講習	令和5年 8月1日(火)～2日(水)	兵庫県中央労働センター(神戸市中央区)
	はい作業主任者技能講習	令和5年 7月4日(火)～5日(水)	姫路労働会館(姫路市北条)
特別教育	伐木等の業務に係る特別教育(チェーンソー作業従事者)	令和5年 4月26日(水)～28日(金)	<学科> 中はりま森林組合 会議室(神崎郡神河町)
		令和5年 6月28日(水)～30日(金)	<実技> 中はりま森林組合 製材工場構内 他(神崎郡神河町)
		令和5年 9月6日(水)～8日(金)	中はりま森林組合
		令和5年11月8日(水)～10日(金)	製材工場構内 他(神崎郡神河町)
安全衛生教育	刈払機取扱作業安全衛生教育	令和5年 6月9日(金)	中はりま森林組合 会議室 及び 土場(神崎郡神河町)
		令和5年 7月20日(木)	
		令和5年 9月20日(水)	
		令和5年10月26日(木)	

※原則として車両系建設機械技能講習修了者であること

普及たより

「集落と連携した獣害対策の取り組み」について

東播磨県民局 加古川農林水産振興事務所

1 はじめに
東播磨県民局では、増加傾向にあるイノシシ等による農作物被害を減少させるため、加古川市の鳥獣被害防止対策協議会や猟友会、森林動物研究センター等と連携し、総合的かつ効果的な被害防止の取り組みを推進しています。

2 集落が主体的に獣害対策に取り組むモデルの育成

野生鳥獣による農作物被害を減らすには集落等が主体的に被害対策に取り組むことが重要であることから、令和2～3年度に市町と連携して有害鳥獣被害対策講習会等を開催し、集落単位での被害状況やイノシシの分布・生息密度の推移などの管理手法を普及啓発して、農作物被害対策への意識向上を図りました。令和4年度は、イノシシ被害が多く、取組みが熱心な加古川市平荘町上原地区を重点指導集落に選定し、捕獲・防除に関する指導、研修会等を実施したのでその取組みを紹介します。



上原地区公民館で集落役員と打合せ

【捕獲研修、集落打合せ】
森林動物研究センター等と協力して、集落役員を対象にセンサーカメラの設置、防護柵の設置・管理、捕獲檻の餌付けについて現地指導を実施しました。

【LINEグループで捕獲指導】

集落周辺に4基の捕獲檻を設置。地元、市、県の関係者でLINEグループを登録し、センサーカメラから送られてくる捕獲檻の映像とあわせて、常時現場の情報を共有しながら捕獲指導を実施しました。



R4.11.14に捕獲した100kgの大物 R3に29頭、R4に20頭を捕獲



スマートフォンのLINEグループを活用した捕獲指導

【防護柵の設置】

上原地区では、鳥獣被害防止総合対策事業等を活用し、令和元年度から集落周辺に防護柵を設置して獣害対策に取り組んできました。しかしながら防護柵が未設置の民間施設付近の農地に被害が集中していることが判明しました。そこで施設周辺にセ

3 効果等

これまでの取組みを通じて、集落の被害対策の意識が向上し防護柵の設置が進みました。また、主体的に防護柵や捕獲檻の管理を行い、農作物等被害が軽減したことで「やればできる」というモデル的取組となりました。



施設周辺がイノシシの侵入経路であることを説明し防護柵設置を依頼

ンサーカメラを設置し、イノシシの侵入経路が同施設周辺であることを確認。カメラ画像を示して防護柵設置を依頼したところ、施設側から快い返事をいただきました。

4 今後の展開

獣害対策は継続的な取組みが必要です。集落活動の中心である地区役員へのサポートを今後も引き続き行っていきます。

(森林課 紙本 雅弘)

森林ボランティア活動

ゆめほたる里山クラブ 代表 関野 正

川西市北部の黒川地区は、冬になると炭焼き窯から煙が上がり、かぐわしい香りが漂います。おそらく炭焼き窯を見たことのない若者までが「なんだか懐かしいにおい」とつぶやいてしまう。そんな地域です。

その黒川地区に隣接する川西市国崎地区に、「ゆめほたる里山クラブ」の活動地があります。ごみ処理施設「国崎クリーンセンター」敷地内の里山林です。林内の野生のさくら「エドヒガン」の群落は、川西市の天然記念物に指定され、クラブはその保全活動の功績で、令和5年4月、(公財)日本さくら



国崎クリーンセンターと敷地内のエドヒガン群落



見ごろを迎えたエドヒガン群落

の会から「さくら功労者」の表彰を受けました。クラブのメンバーは、センター併設の啓発施設「ゆめほたる」が開講する「里山保全技術者養成講座」を修了した約40人です。約半年の講座を通じて、メンバーは里山保全の知識や獣害対策、チェーンソーの扱い方などの除間伐技術を習得しています。

多くの里山と同様、本クラブの活動地は鹿の食害に悩まされ、集水域全体を囲む防鹿柵設置などの対策を講じています。メンバーは、講座で培った技術で倒木の処置や防鹿柵の点検・補修なども担っています。

また、活動地は子供たちや地域の人たちの自然学習の場にもなっており、クラブではエドヒガンの開花期に見学会のガイドや、案内看板、ベンチの設置などの活動も行っています。



危険木を除去するクラブメンバー

周辺の里山は「日本一の里山」と称されます。クラブの活動を通して、センターの敷地だけでなく地域全体の里山保全に貢献したいというのがメンバーの想いです。



ひょうご森林林業協同組合連合会は、森林組合や市町などの森づくりのサポートをするともに、会員及びその組合員(以下「所属員」という)の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上並びに森林の保続培養及び公益的機能の維持増進を図ることを目的とし、所属員の相互扶助の精神に基づき、共同事業を行う組織として、令和4年10月13日に発足しました。

業務としては、兵庫県森林組合連合会が実施していた「販売事業」「購買事業」「森林整備事業」を承継し、令和5年1月1日より事業を開始しております。

2月より兵庫県林業会館から左記住所へ移転しましたので、お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

○新事務所
神戸市兵庫区浜崎通五一六
電話〇七八一五九九一七四六一

ひょうご森林林業協同組合連合会
発足と事業開始

あなたの町の森づくり
木材利用・木育をサポートします

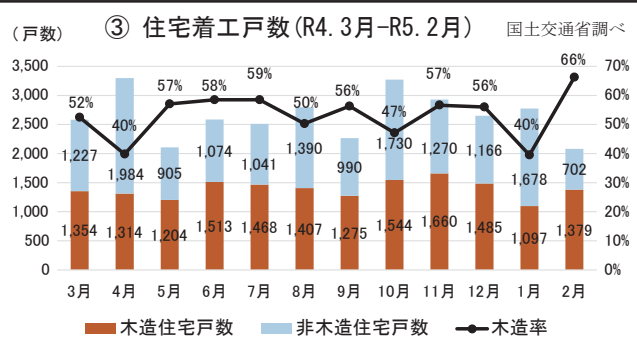
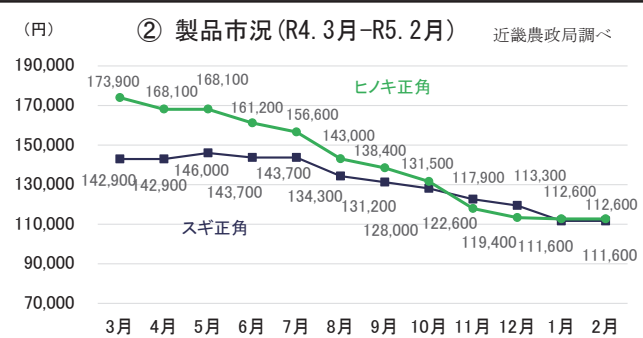
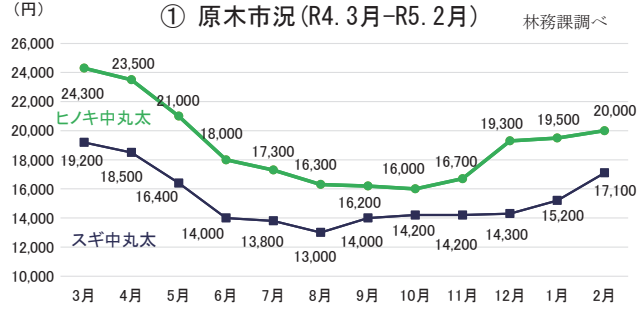
ひょうご
森づくりサポートセンター

森林環境譲与税や森林経営管理法に関すること、
県産材や地域産材の利活用に関することなど
何でもお気軽にご相談ください。

■神戸市兵庫区浜崎通5-6 ひょうご森づくりサポートセンター URL:www.hyogoforest.or.jp
森林整備:☎:078-599-7461(ひょうご森林林業協同組合連合会内)
木材利用:☎:078-381-0607(兵庫木材業協同組合連合会内)

<兵庫県内の原木市況・製品市況・住宅着工戸数>

- ・原木は、県内製材工場・プレカット工場における在庫調整等の影響により、8月にかけスギ・ヒノキとも大きく値下がりしたが、年明けにかけて状況が改善され相場は戻りつつある。
- ・製品は、例年と比べ高値が継続しているが、需要動向の弱さから荷動き鈍く値下がり傾向。
- ・住宅着工戸数は、月毎の需要にばらつきはあるものの、年間を通じては前年並で推移している。



株式会社 グリーン興産

〒671-4141 兵庫県宍粟市一宮町東河内1003
TEL 0790 (72) 1553 FAX 0790 (72) 2327

営業品目
森林部門・・・素材生産・森林整備・危険木伐採
土木部門・・・公共土木・一般土木工事
緑化部門・・・公共緑化工事・一般造園工事
建築部門・・・新築・リフォーム・エクステリア工事

E-mail: info@greenkousan.co.jp
URL: http://www.greenkousan.co.jp

森林整備・造園・法面・土木・設計施工管理

緑と笑顔が私たちの基本です

株式会社 西村風昇園

豊岡本社 〒688-0051 兵庫県豊岡市九日市上町846-1
TEL (0796) 23-5611 FAX (0796) 22-4529
URL [http://fuukouen.com] E-mail [seifuu@skyblue.ocn.ne.jp]

・姫路本店
・神戸営業所

緑を育み水をつくる水源林造成事業

分取林方式により、水源林造成事業を進めています
対象地は無立木地など、公益的機能の低下した水源かん養保安林です

国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林整備センター近畿北陸整備局

神戸水源林整備事務所 TEL(078)362-5800
FAX(078)362-5802

兵庫県水源林造林協議会 TEL(078)351-3341
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
(兵庫県林業会館内)

災害のない安全で安心な社会

- 治山、林道、造林事業の推進
- 山地防災・土砂災害対策計画

一般社団法人 兵庫県治山林道協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5-18
TEL:078-371-0210 FAX:078-371-6632

HP 兵庫県治山林道協会

木材でつくる 美しい景観、住みよい街

木材は、持続可能な人と環境にやさしい資材です。
生活の一部に木を取り入れるとともに、都市部の木造・木質化を図ることで、環境に配慮しながら安全かつ美しい景観を作り出し、住みよい街づくりを推進します。

兵庫県木材業協同組合連合会

都市木造で美しい景観を

都市部のビルにも木造が増えています。構造材には、品質・性能が明確なJAS構造材の使用をご検討ください。

外構部に木材を

塀などの外構部に木材を使用し美しい街並み、安全な通学路の確保などに役立ちます。防腐・防蟻処理をして耐久性を高めています。

木材を安全に使用するために

防火地域等でも安心して木材を使用していただくため、燃えしる製材、集成材や耐火被覆等の使用を推進しています。

兵庫県JAS製品をはじめ県産木材の供給については兵庫県木材業協同組合連合会のHPをご覧ください。
兵庫県木材業協同組合連合会
Tel:078-371-0607 Fax:078-371-7662 E-mail:hyogomokuren@hkg.odn.ne.jp

ひょうご木の匠の会 兵庫県産木材の家

私たちは、兵庫県産木材を使い、人と環境に優しい木造住宅を提案し建築します。

ひょうご木の匠の会 会長 日置尚文(日置建設株)
(事務局) 神戸市中央区北長狭通5-5-18 兵庫県林業会議
<https://hyogo-kinotakumi.com> TEL:078-351-3341

三井化学グループ エムシー緑化の松枯れ防除剤

松枯れ防止樹幹注入剤 **マツガード**
マツガードクイック[®]
ハダニの適用拡大

マツノマダラカミキリ後食防止殺虫剤 **マツガードフラッシュ**[®]

販売元 **正和商事株式会社** 〒541-0045 大阪市中央区道修町1丁目3番4号
TEL 06-6203-4541 FAX 06-6203-4347

“治山・林道測量”

は経験と実績のある

株式会社 石原測量コンサルタント

〒671-2542 兵庫県宍粟市山崎町船元250-1
Tel (0790) 63-1377
FAX (0790) 63-1398
E-Mail ishisoku-y@wine.ocn.ne.jp

国土交通省登録第24891号
県知事許可(般-2)第461481号

緑の募金へのご協力をお願いいたします

いつも緑の募金にご協力いただき、ありがとうございます。
緑の募金は、森林ボランティア活動への支援や、子どもたちの環境学習などに活用しています。
ご協力いただける場合は、次の方法でお願いいたします。

ご寄附の方法

- 金融機関からのお振込み
 - ①郵便局(手数料不要)
専用の払込取扱票をお送りしますので、当協会にご一報ください。
 - ②銀行(手数料必要)
口座：三井住友銀行 兵庫県庁出張所
普通 3198438 公益社団法人兵庫県緑化推進協会
- キャッシュレス決済(手数料不要)
ソフトバンクの「つながる募金」からキャッシュレスでご協力いただけます。

公益社団法人 兵庫県緑化推進協会
〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5丁目5番18号
TEL 078-341-4070 FAX 078-341-4071
HP <https://hyogo-green.net/>

兵庫県緑化推進協会 検索

Husqvarna 550XP/XPG-MarkII

AutoTune

- 排気量：50.1cm³
- 出力：2.8KW
- 質量：5.3/5.5kg(XPG)

本当の価値が分かる方へ!

安全と作業効率を追求し続けるハスクバーナは、プロが認めるチェーンソーの最高峰です。
革新的な技術を融合し、これまで以上の加速とトルクで他に類のない鋸断能力を発揮します。
新登場550XP-Mark II、ぜひお試しください。

愛林興業株式会社

本社 姫路市飾磨区恵美酒294-3 TEL(079)234-8181番(代)
神崎店 神崎郡神河町吉富1409-2 TEL(0790)32-0570番
但馬店 養父市上野1357 TEL(079)664-2101番

ひょうごの木の物語

第4回 兵庫運河と木材

「初代県庁館、兵庫区材木町を訪ねて」

1. 兵庫運河とは

兵庫区にある5つの運河（兵庫運河、兵庫運河支線、新川運河、苅藻島運河、新湊川運河）の総称で、日本最大級の運河。

新川運河、兵庫運河は古来船舶の航行に難のあった和田岬を迂回し、船泊を確保するために明治32年に完成した。

現在、運河周辺には、チャンネルプロムナード、浜山プロムナードなどの遊歩道が整備されている。



昭和40年代の兵庫運河



和田岬

2. 最初の兵庫県庁

チャンネルプロムナード（新川運河）に「兵庫城跡 最初の兵庫県庁の地」という石碑が立っている。

兵庫城は、江戸時代に入って1617年に尼崎藩領となって藩の陣屋となり1769年に幕府領となってからは大阪町奉行所に所属して、与力や同心の勤番所（役所）として明治まで続いた。

明治新政府は1866年1月にこの城跡に兵庫鎮台を設けたが、2月に兵庫裁判所と名を変え、5月にまた兵庫県と改めた。つまりこれが最初の兵庫県庁である。



石碑

現在、兵庫城跡から少し離れたところに「初代県庁館」が整備されている。（令和4年11月オープン）

3. 初代県庁館

長屋門、勤番所、地付同心屋敷、船見番小屋、月番同心屋敷、仮牢、番小屋、腰掛などから構成されており、外見上すべての施設が木造に見えるが、当該施設が防火地域に位置することから、勤番所、地付同心屋敷については鉄骨造であるが、鉄骨に木材を被覆する「木造に見える耐火構造」が採用されている。（下写真）



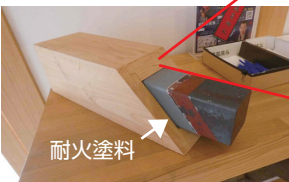
長屋門



勤番所（鉄骨造）



勤番所（完成後）



耐火塗料

柱（耐火構造）



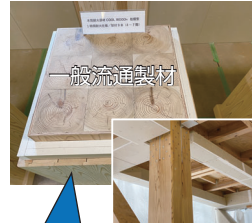
継ぎ目

屋外部：ヒノキ
屋内部：スギ

令和3年10月に「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用促進に関する法律」（通称：都市（まち）の木造化推進法）が施行され、今後このような耐火構造を採用した中高層の木造建築が増加していくものと思われる。

主要構造材（骨組み）以外の梁、柱、床等については、兵庫県産のスギ、ヒノキがふんだんに使われており、設計者の苦勞がうかがえる。

COOL WOOD



石膏ボード+木材



スギ

スギ

職員執務室



知事執務室

4. 兵庫区材木町

浜山プロムナード（兵庫運河）の周辺に「兵庫区材木町」という地名がある。このあたり一帯は戦前「鐘紡」などの工場があり商工業地として栄え、周辺には製材工場が十数件あり、神戸港に荷揚げされた外国などからの木材を「いかだ」に組み兵庫運河の貯木場に運ばれ製材されていたという。

現在は株式会社「三栄」という製材工場が1つだけ残っている。この会社を運営する服部鋭治さん（兵庫運河を美しくする会会長）は色物（高級材）の製材を中心に製材業を行っているが、六甲山材、兵庫県産材を使った木製品等の製作にも力を入れている。



貯木場



六甲山の防災林整備で発生したセンダンを使ったテーブル（兵庫県林業会館）



シイの木を使ったイス（淡路市立津名図書館）

（「ひょうごの木の物語」取材チーム 戸田 政宏）